

## 第5学年 道徳学習指導案

- 1 主題 「きまりの大切さ」 4-(2)公徳心、規則の尊重、権利・義務
- 2 ねらい 「約束やきまりを守ることでお互いに安心して生活していけることの大切さを理解し公徳心を大切にしようとする心情を育てる」
- 3 資料映像 「借りた消しゴム」(出典 「法教育支援センター」 )

### 4 主題設定の理由

#### (1) ねらいとする価値について

児童を取り巻く現代社会を見ると、利己主義的に生き、自分さえ良ければいいという風潮が蔓延している。しかし、人が集団の中で生きていくとき、他者との係わりの中で、集団の秩序を守っていくためには、きまりは重要なものとなってくる。また、より良い人間関係を築いていくためには、その「きまり」を守るということだけではなく、その意味を理解し、生活・行動する必要がある。本来、人々が道徳心に溢れ、自らの行動を律して、行動を起こすことができれば、きまりは、「いらぬ」と言うこともできる。しかし、現実的には、違う環境下で育った人間同士の社会では、常識も異なってくる。そこで、「きまりを守る」という基本的な認識と、なぜそのような「きまり」ができ、「守らなければいけないのか。」という心の内面も育てていかなければならない。

そのためには、「社会生活を送るうえで守るべき道徳。公衆道徳」すなわち、公徳心を育むことが必要であり、この公徳心を育むためには、社会の仕組みの中で生き、多くの人に支えられ、生活していることにも気付かなければならない。

#### (2) 児童の実態

児童は家庭生活や学校生活を重ね、善悪の判断はつくようになってきている。しかし、自己中心的な考えにより、深く考えることができずに、「きまり」を守らない(れない)ケースもある。そのことにより、人間関係を悪くしてしまったり、かえって、自分がいやな思いをしてしまったりすることもある。小さな社会になればなるほど、目に見えないきまりも多くなる。そのような小さなきまりを守り、より良い人間関係を形成するためにも、公徳を大切にしながら、社会の中で生活していける道徳的实践力を育んでいきたい。

### 5 指導過程

段階	学習活動と主な発問	児童の心の動き	指導上の留意点 (○支援 ☆児童への評価の観点 ★指導者の評価の観点)	時間

導入		<p>(1)学校の中で守らなければいけないことには、どのようなことがありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に立ち歩かない。</li> <li>・友達に暴力をふるわない。</li> <li>・廊下を走らない。</li> </ul>	<p>○資料への方向づけをする。 ☆本時のねらいの方向性を感じることができたか。</p>	4分
展開	価値の追求・把握	<p>(2)資料映像「借りた消しゴム」を視聴し、内容をつかむ。</p> <p>(3)クラスのトラブルについて考える。 ①クラスの中でけんかが起こってしまったのは、何が原因なのでしょう。</p> <p>(4)文弥君や豊君の行動について考える。 ○どのような行動が問題を大きくしてしまったのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝手に文弥君が豊君の消しゴムを使ってしまったから。</li> <li>・消しゴムを使われたことで、豊君が怒ってしまった。</li> <li>・消しゴムを借りるときに豊君に断らなかった。</li> <li>・しっかりと謝らなかった。</li> </ul> <p>→文弥君はうそをついている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が悪いのに悪</li> </ul>	<p>○場面の雰囲気や人間関係を捉えることができるように支援し、児童と共に話題をつくる。</p> <p>○消しゴムを使った経緯をたどらせる。</p> <p>☆トラブルの原因を考える中で登場人物の心情を考えることができたか。</p> <p>○原因から問題発生までの道筋をたどることになるが、主原因と問題を深刻化してしまっただ要因とを区別し把握していく。</p> <p>○二人の勉強を中断してはいけないことから、そっと、消しゴムを借りてしまった文弥。気遣いも垣間見ることができる。</p>	33分

		<p>・豊君が暴力をふるった。</p>		
<p>価値の自覚化</p>	<p>(5) 文弥くんの行動をもとに自分たちの行動をふり返り考える。</p> <p>① 自分が豊君の立場だったら、どのようなことを考えますか。</p> <p>② どのように行動すれば、誰もが傷つかないようにすることができますか。</p>	<p>A 消しゴムはないが、断っていないので、消しゴムは借りない。</p> <p>B 勉強をしている二人に断って消しゴムを借りよう。</p> <p>C 相手には悪いがちょっと借りてすぐに返そう。</p> <p>D 自分が困っているので、あまり気にせずに借りてしまう。</p> <p>・やはり勝手に借りるのはよくない。</p> <p>・「勉強中に悪いね」と断ればいいので</p>	<p>○道徳性から見た序列で類型化する。他者との調和の態度や物事に対する意思の強弱、情緒の深度の程度はどうかを考慮しながら類型化を図る。生活の中で類似ケースが発生している場面は多いと考えられる。自分の気持ちを素直に表現できるように支援する。A青、B水色、C黄色、Dピンクの4色のカードを持たせ、自分の気持ちを明確化させる。</p> <p>☆文弥君の状況を自分に当てはめ考えることができたか。</p> <p>○話しの方向性を他人を思う視点へ向けさせ決まりや規律を大切にする良さを感じられるようにする。</p>	

			<p>はないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の物を借りるときは、「消しゴムぐらい」ということはない。</li> <li>・二人の勉強が終わるまで待てばよい。あくまでも借りる立ち場なのだから。</li> <li>・どうすれば皆にとってよいか、望ましいか考える(公德)。</li> </ul>	<p>☆相手の立場を尊重することで、社会の中のルールやきまりの大切さを感じることができたか。</p> <p>★基本発問、補助発問によりねらいに迫る中心発問とすることができたか。</p>	
終末		<p>(5)</p> <p>①教師の説話を聞く。</p> <p>②感想を書き発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の類似体験などを聞き、だれもが経験するような問題であり、成功例、失敗例を身近に感じ、共感する。</li> </ul>	<p>○きまりの大切さについて考えられるように導く。</p> <p>○感想を交流し、価値の深化をはかる。</p>	8分

## 6 評価

### (1) 児童サイドからの評価の観点

- ・登場人物の気持ちを想起しながら、道徳的な価値に近づくことができたか。
- ・クラスメートの発言を聞き、自分の考えをふりかえり、思考を深めることができたか。

### (2) 教師サイドからの評価の観点

- ・児童の考え(発言・ノート記述)を大切にしながら、授業を進めることができたか。
- ・葛藤場面を有効に進めながら、児童を道徳的な価値に導くことができたか。

## 7 板書計画

<p>「借りた消しゴム」(仮称)</p> <p>写真 ふみや</p> <p>写真 ゆたか</p> <p>写真 さくら</p> <p>写真 新太</p> <p>【トラブル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝手に消しゴムを使ってしまった。</li> </ul> <p>【みんなの考え】</p> <p>A 断っていないので、消しゴムは借りない。</p> <p>B 断ってから消しゴムを借りよう。</p> <p>C ちよっと借りてすぐに返そう。</p> <p>D 気にせずに借りてしまう。</p> <p>・きずつかないために？</p> <p>【感想】学校生活を楽しく送るために…。</p> <p>・「公德」</p> <p>社会生活を送るうえで守るべき道徳。</p>
---